

「仲間を作る（行内外）」⇒「共に情報を得る・交換する」⇒「共に活用する・実践する」

人材マッチング業務および人材支援事業は、その本来の目的（企業成長支援・関係構築・新たな収益の源泉）を鑑みると全行挙げて積極的に取り組む必要がある事に議論の余地はありません。一方で、そのノウハウ・知見の蓄積や十分な体制の確立や稼働の捻出が上手くいかず、苦勞やジレンマに苛まれながら試行錯誤を繰り返している地域金融機関が多い現状です。逆に考えると、同様の苦勞を抱えながら全国で多くの金融機関が共に同じ方向へ向かって走りだしている状況です。先導的人材マッチング事業でもこれを全面的に支えるべく、当事業の進め方や先行事例の紹介を始め多くの情報共有をコンテンツ作成やWeb会議を通して展開しています。日頃から情報への感度を上げていけば非常に多くの有用な情報や知見を得る機会があることを理解いただき、積極的に関わって自行での事業推進に役立てていただきたいと思います。

- ①行内およびグループ会社間との連携
- ②他行との情報連携
- ③人材紹介会社との密接な連携
- ④各種パートナーとの連携
- ⑤地方創生カレッジの積極的な活用

なお一番重要である「①行内およびグループ会社間との連携」については、当コンテンツ内のSTEP0「2\_ 人材マッチングの効果的な施策」のスライド3,4にあるような具体的な内容を以て行内への説明を重ねていく（発信していく）ことで必ず賛同して積極的に協力する同僚や支店長が出てきますし、主体的に動けるメンバとの推進に注力していけば自ずと効果的・効率的な事業推進に繋がります。

